

# 7月

②



# 美園小だより

学校教育目標 笑顔かがやく きれいな学校 URL <http://misono-e.saitama-city.ed.jp/>

平成 27年 7月22日  
さいたま市立美園小学校  
第48号 児童数1,037名  
Tel 048(812)6611  
Fax 048(878)6660

## 熱帯のミツバチの話～夏休みを迎えるにあたり

校長 榎山 正春

今年はなかなか梅雨が明けず、7月上旬は気温がなかなか上がりませんでした。1日から9日までのさいたま市の日照時間は合計でたったの32分間!! 6月30日も曇りでしたから、連続10日間、お日様の光をほとんど浴びられなかったこととなります。そのため、この間予定していたいくつかの行事については、順延したり、校庭から体育館に場所を変更したり、という対応で何とかこなすことができたものの、子どもたちが楽しみにしていた水泳の授業が何度もつぶれてしまったのは何とも残念でした。

しかしながら、10日からは一転して夏らしい猛暑になりました。12日の浦和まつりの音楽パレードでは、他の小学校とともに本校の金管バンド“AMIGOS”の子どもたちも堂々と演奏を披露し、お祭りを盛り上げてくれました。明日からいよいよ夏休みですが、気温は平年並みだそうです。十分な睡眠・休養と食事、水分補給、そして適度な運動に配慮し、健康第一で過ごしていただきたいと思います。



毎年この季節になると、赤道直下、熱帯雨林気候の国で暮らしていたころのことを思い出します。場所が場所ですから日本と違って季節は一年中「夏」、天気予報も一年365日、「明日も気温32℃、天候は晴れで午後一時雨または雷雨」と判を押したように変わらず、しかも外れることがありません。明日の天気の手配は一切不要、外を見れば色鮮やかな熱帯の花々がいつだって咲いているし、おいしい果物も一年中楽しめます。単調と言えば単調ですが、決して暮らしにくいとは思いませんでした。

さて、その昔、そんな熱帯の環境に着目して「ここなら花を追って移動しなくても、たくさん蜜が採れるはず」と考え、日本からミツバチを持ち込んだ養蜂家がありました。彼のミツバチは、期待通りに蜜をいっぱい集めました。これはイケル!と思った二年目、彼の計画はどういうわけか、不幸な結末を迎えることになってしまったそうです。一年中花があることを知って食糧不足の不安から解放されたミツバチがまったく働かないナマケモノになってしまった…のかもしれない。



私たち人間も同じかもしれません。外が暑ければ冷房の効いた室内で過ごす。物は何でも揃っているし、欲しいものがあればネットショッピングで手間いらず。エアコンの温度調節も、テレビのチャンネル切り替えもリモコン操作ででき、手間のかかる面倒なことは身体をほとんど動かさなくても全部機械がやってくれる。動かすことが減った身体は運動不足で弱くなり、ちょっとしたことで大ケガをしたり、病気になったりする。すると病院に駆け込んで薬をもらい、薬の力で治そうとする…。これでは身体はどんどん弱くなるに決まっています。心だつて弱くなってしまうでしょう。至れり尽くせりで不便さ、不自由さのない『恵まれ過ぎた環境』は考えもの、という気がしてきます。



猛暑・酷暑の夏ですが、エアコンを効かせ過ぎず、冷たいものを飲み過ぎず、進んで家の仕事を手伝い、運動もする。そして遊ぶ一方で勉強もする。子どもたちがそんな過ごし方をし、9月1日に全員が元気に勢揃いできるよう、保護者の皆様のご協力をお願いしたいと思います。